

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

7頁～12頁 2005年のスケジュール

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601



はじめに

新年明けまして
おめでとうござい
ます。今年も京都
教区の「みながひ
とつになって」、福
音宣教の「沖に漕
ぎ出して」(ルカ五・
四)行きましょう。

私たちは昨年、『日
常からミサを生きる』をテーマに、共同宣教司
牧推進のための第一の基礎であるミサを中心と
した信仰生活についての反省を始めました。今
年も、この『日常からミサを生きる』をテーマ
にしたいと思います。サブテーマは、「キリスト
との親しい交わりに呼ばれて」(参照 Iコリ
ント一・九)とします。私たちがエウカリス
チア(聖体)註1の神祕を信仰で受けとめ、キ
リストとの親しい交わりに呼ばれている恵みを
『日常』において生きるためにです。

『日常からミサを生きる』パート2 —キリストとの 親しい交わりに呼ばれて—

京都司教 パウロ大塚喜直

常からミサを生きる』をテーマに、共同宣教司
牧推進のための第一の基礎であるミサを中心と
した信仰生活についての反省を始めました。今
年も、この『日常からミサを生きる』をテーマ
にしたいと思います。サブテーマは、「キリスト
との親しい交わりに呼ばれて」(参照 Iコリ
ント一・九)とします。私たちがエウカリス
チア(聖体)註1の神祕を信仰で受けとめ、キ
リストとの親しい交わりに呼ばれている恵みを
『日常』において生きるためにです。

今年の各小教区、ブロック、
地区協議会においても、『聖体の年』を有意
義に過ごしたいと思います。
今年の各小教区、ブロック、
地区協議会においても、『聖体の年』を有意
義に過ごしたいと思います。

1
2005

1.『聖体の年』にあたって
教皇ヨハネ・パウロ二世は、新しい千年紀の
第一の回勅をエウカリスチア(聖体)の秘跡に
ささげ、回勅『教会にいのちを与える聖体』を
発布して、新しい福音宣教に「漕ぎ出す」キリ
スト者がエウカリスチア(聖体)の神祕をたえ
ず新たに味わうように呼びかけておられます。
今年、カトリック教会は教皇によって制定さ
れた「聖体の特別年」を歩んでいます。この
『聖体の年』は、昨年十月(十日から十七日)

にメキシコ・グア
ダラハラで「新世
紀の光り」といのち
である聖体」をテー
マに行われた「第
四十八回国際聖体
大会」で開幕し、
今年十月二日から
二十九日まで「聖
体の神秘—教会の
とバチカンで開催される「シノドス(世界司教
代表者会議)」で閉じられます。私たち京都教
区も、『日常からミサを生きる』をテーマにし
た取り組みによって、この『聖体の年』を有意
義に過ごしたいと思います。

今年の各小教区、ブロック、
地区協議会においても、『聖体の年』を有意
義に過ごしたいと思います。

問を行います。ともに祈り考えましょう。

2. 「秘跡」と『日常』

「秘跡」は信仰生活の助けであっても、その代わりにはなりません。『日常からミサを生きる』の『日常から』とは、私たちが信仰を生きる日常生活の座から秘跡に近づく大きさを強調しています。カトリックの典礼（礼拝）行為は、靈的・精神的な鍛錬や苦行を強いる「行」ではありません。典礼において秘跡を行う意味は、「復活したキリストとの交わり」において起こる内的変化を生み出すためです。エウカリスチア（聖体）の秘跡の典礼であるミサに与る行為は信仰の行為ですが、ミサに行くことで信仰をすべて生きていることにはなりません。

「秘跡」とは、いわば「日常の私たち」と「キリストの過越の神祕」の中間にあるものといえます。二〇〇〇年前に生起したキリストの死と復活の出来事に時空を超えて触れようとしたら、どうしたらよいのでしょうか。そう考えたとき、主イエスご自身が「これを私の記念として行いなさい」と言って、なぜエウカリスチア（聖体）を制定されたのかの意味がわかります。私たち人間の側からは、キリストの過越の神祕に有效地に近づくことはできません。イエスの方が、私たちのためにその方法を考え出してくださいましたのです。「取つて、食べなさい」という招きが、私たちの目の前にあるのです。私たちには「秘跡」において、具体的なシンボルを介してキリストの神祕に触れることができるのです。そして目には見えませんが、「救い主キリストと交わる」ことができるのでです。ミサにおいては「パンとぶどう酒」というシンボルを使います。エウカリスチア（聖体）の秘跡も含めて、七つの秘跡におけるシンボルの意味をもっと知り、理解を深める必要があります。

3. エウカリスチア（聖体）三つの次元

キリストの「いけにえ」・「現存」・「交わり」

私たちは聖別された「パンとぶどう酒」を前にして、信仰において「これはキリストの御体と御血である」と告白します。エウカリスチア（聖体）の理解は、信仰に固有のものであり、直観するもので、それを拝領する時まさに与えられるものです。御自分をお捧げになる主は、私たちとの交わりと一致の中で、御自分を私たちに知らせてくださるのです。

そこで本書簡において私は、エウカリスチア（聖体）の神秘であるキリストの「いけにえ」と「現存」と「交わり」の三つ（参照『教会にいのちを与える聖体』p.6）について考察し、『日常からミサを生きる』パート2のサブテーマである「キリストとの親しい交わりに呼ばれて」を默想したいと思います。これら三つの次元は、エウカリスチア（聖体）の本質を構成する主要な概念であり、それらはまた互いに説明し合っています。そして、三つはそれぞれ「愛する（奉仕する）教会」、「キリストの靈によって生きる教会」、「交わりへ向かう教会」へと私たちを導きます。

4. ミサ聖祭は「いけにえ」による交わり

①キリストの「あがない」としての「いけにえ」

教会はミサ聖祭を行い、「キリストの過越」を祝います。エウカリスチア（聖体）は「キリストの過越」の記念であり、キリストの唯一の「いけにえ」の秘跡的な奉獻です。「食べられる」パンと「飲まれる」ぶどう酒は、それ自体が自分自身を完全に放棄された捧げ物としてのキリストを語っています。イエスはこの「いけにえ」をすべての人々の救いのために十字架上で捧げられました。教会はこの「あがない」の「いけにえ」に常に生かされています。

最後の晩餐で、イエスは「これは、渡される私の体」、「これは、流される私の血」と明言され、間違いなくご自分の死を賭けてお

られます。ということは「これを私の記念として行いなさい」というキリストの命令は、単に記念としてこの食事を繰り返すことだけを意味するのではなく、「私の死を賭ける奉獻、これをあなたがたが常に新たにおこないなさい。それが私の記念となる」ということを意味しています。エウカリスチア（聖体）は十字架上でキリストの「あがない」の業を現在化し、記念し、その実りを分け与えるので、交わりを生む愛の「いけにえ」なのです。

②教会の靈的な愛の「いけにえ」

救い主としてのキリストの役割は、自分自身をも含めてすべてのものを御父から「受けている」御子として存在する以外の何ものでもありませんでした。キリストの捧げ物は「愛」であり、しかも受け入れた「御父の愛」からの捧げ物でした。こうして神はすべてを受ける御子において栄光を受けられたのです。というのも、神の栄光とは自己を譲渡することにあるからです。

教会はこのキリストを「受けながら」捧げるのです。キリスト者がキリストと交わること、それはまたキリスト者が「いけにえ」となることです。だから、エウカリスチア（聖体）は教会の「いけにえ」でもあります。教会はただ受け入れるだけでなく、参加することによってしか受けないのでです。だからパウロは言います。「自分の体を神に喜ばれる聖なる生きるいけにえとして捧げなさい」（ローマ十二・二）と。そうすれば、教会と私たちキリスト者の毎日の生活（贊美、苦しみ、祈り、労働）と信仰と奉仕は、キリストが捧げるミサとなるのです。したがって、「典礼」よりも先に「生活」そのものが「いけにえ」とならなければならぬのです。

③「愛する（奉仕する）教会」

エウカリスチア（聖体）の「いけにえ」の考察は、私たちが、キリストと共に御父から受けた賜物を喜んで受け入れ、同時にそ

の賜物によって兄弟姉妹に仕える「愛する（奉仕する）教会」を目指すことを教えます。私たちはまず、同じ食卓を開く人々を愛します。そして、エウカリスチア（聖体）的な共同体は、だれでも共同体によって助けられようには配慮しなければなりません。共同宣教司牧を推進するためには、何よりも自分たちの教会共同体が靈的な「いけにえ」を捧げ、兄弟姉妹を相互の奉仕によって愛する共同体に近づく必要があります。

5. ミサ聖祭は、この世における「キリストの現存」の祝い

①御自分を「与える」「現存」

神が約束される「救いの喜び」とは、「常に主と共にいること」（Iテサ四・十七）です。ミサにおいてイエスの「いけにえ」は単に更新されるのではなく、常に現実のものとなります。司祭の「聖靈の働きを求める祈り」（エピクリーシス）と聖別のことばによって、「パンとぶどう酒」の形態のもとに復活のイエスが現存します。この「現存」は、そこにじつとして居るという類のものではなく、御自分を「与える」というダイナミックな営みのことです。まずキリストは私たちにとって、死によって現存し、復活によって私たちに向かって現存しています。弟子たちが「主を見に喜んだ」（ヨハネ二十・二十）のは、十字架上で御自身を御父に捧げた傷のある栄光のイエスを見たからです。復活した主が私のところに来て心を開いてくださり、愛とゆるしのまなざしを向けてくださり、私を受け入れてくださる。「私の肉を食べ、私の血を飲む者は、いつも私の内におり、私もまたいつもその人の内にいる」（ヨハネ六・五）というイエスのことばのとおり、エウカリスチア（聖体）の現存は、自分自身を与える互いに受け入れ合う現存の仕方です。

②復活の主を迎える準備

弟子たちは「喜びと真心をもって」（使徒二・四十六）パンを

裂き、復活した主との生き生きとした出会いのうちに主を迎えることによって、エウカリスチア（聖体）を祝いました。私たちが祭壇の上に用意し、聖靈の働きによってキリストが現存する「パンとぶどう酒」の内に、キリストはこの世において「教会と出会い」ために復活してくださると言えます。この世にいる私たちにとって主の復活とは「再臨」、すなわち主の到来と現存のことだからです。初代教会からエウカリスチア（聖体）への信仰は、復活した主がその共同体に現存しているという確信によって養われてきました。この確信はおのずと、エウカリスチア（聖体）において私たちのもとに来られる主を出迎える準備をさせました。「誰でも自分をよく確かめたうえで、そのパンを食べ、その杯から飲むべきです」（Iコリント十一・二十八）。回心です。

③「キリストの靈によって生きる教会」

キリストの「現存」における「交わり」は、「主の到来」と回心する私たちの「出迎え」の相互性のうちに祝われます。さらに教会自体がこの世におけるキリストの「現存」になることができます。しかし、ミサが共同体の兄弟的な食事であると認めて、キリストとの交わりにおいてしか兄弟的な食事にはなりません。教会が自分自身の中に閉じこもっているとき、秘跡はまだ不完全な相互性の場でもあります。集まつたキリスト者は、自分たちだけでは愛のパン種にはなれません。教会の行う使徒職やあらゆる活動、また私たちが取り組んでいる「共同宣教司牧」においても、主の現存を安っぽくしているような活動なら、それは「キリスト不在」のはずです。エウカリスチア（聖体）におけるキリストの「現存」の考察は、私たちが真に「キリストの靈によって生きる教会になる」ことを教えてくれます。

④貧しい人々の中のイエスの現存

聖体拝領をして私たちはそのまま、エウカリスチア（聖体）の

聖櫃にはなりません。しかし、「取って、食べなさい」という招きに応じた私たち自身が、「日常からミサを生きる」ことによって、主の現存のシンボルとなります。キリストの祭壇の前でいただくエウカリスチア（聖体）への信仰宣言は、実際「日常」においてどのように信仰を証しするかにかかっています。キリストと共に自らを「いけにえ」として捧げるのです。それは、まさに「貧しく苦しんでいる人々に仕えること」にあります。私たちのために渡されたキリストのからだと血をふさわしくいただくには、その兄弟である最も貧しい人々のうちにキリストを認めなければなりません。主イエスは「これは私のからだ」と言われます。同じ主が、ご自分とこの世の「貧しい人・小さな人々」を同一視されます（マタイ二・二十五・三十五）。このことは、貧しい人々の中におられる「キリストの現存の象徴の制定」を意味します。「貧しい人々の中のキリストの現存」と、「エウカリスチア（聖体）の内にあるキリストの現存」とは不可分なのです。

6. 交わりの秘跡であるエウカリスチア（聖体）

①会食による交わり・コムニオ

最後の晚餐でイエスは弟子たちに「いけにえ」の「交わり」に与るようと言われます（Iコリント十一・二十三～二十六）。この「いけにえ」にあずかること、すなわち「パンとぶどう酒」を食べ、飲むことが祝うことです。これが「コムニオ」です。日本語ではこれを「聖体拝領」と訳しているのでミサの一部分の動作を連想させますが、「コムニオ」はエウカリスチア（聖体）がもたらす最も深い次元を表すことばです。教会的「コムニオ」（交わり）とは、キリストの過越を共に祝うことです。エウカリスチア（聖体）は、先に述べたように「いけにえ」と「現存」であるからこそ、会食のかたちで行われます。「取って、食べなさい」という招きは「交わり・一致」を目的としています。

②キリストのからだである教会

エウカリスチア（聖体）を捧領し交わりに与る人々はキリストに結ばれます。キリストはご自分のからだであるエウカリスチア（聖体）を通して、すべての信者を「教会」という一つのからだに結び付けます。したがって教会はキリストのからだですし、また、教会とはイエスとの交わりといえます。「私たちが裂くパンは、キリストのからだにあずかるのではないか。パンは一つだから、私たちは、大勢でも一つのからだです。皆が一つのパンを分けて食べるからです」（Iコリント十・十六～十七）。教会はただ、キリストを囲んで集められたのではなく、キリストのうちに、そのからだのうちに統合されるのです（『カトリック教会のカテキズム』N.789）。

③キリスト者相互の愛の絆と一致

また、エウカリスチア（聖体）を受け各自がキリストと結ばれていることによって、キリスト者相互の一致が生まれます（『カトリック教会のカテキズム』N.1396）。エウカリスチア（聖体）による交わりは、すでに洗礼によってキリスト者各自に実現された教会との合体を新たにし強めると同時に、キリストのからだの一部となるキリスト者相互の愛の絆と一致を深めます。

二〇〇三年は「信仰共同体を体験しよう」をテーマにしましたが、もう一度エウカリスチア（聖体）からの考察で、「信仰共同体」の理解を補つてください。

④交わりの教会・共同宣教司牧の靈性
エウカリスチア（聖体）による交わりは、単なる「恵みの分配」ではありません。受けた恵みは、それに応えてなされる愛と奉仕によって完成されます。それは個人がバラバラで勝手に行うではなく、教会共同体の業としてなされなければなりません。キリストのからだは一つであっても、肢体は多様だからこそ共同体

業となるのです。「キリストのからだの建設において、それぞれ肢体と職務の相違があります。靈は一つであって、その豊かな富にふさわしく、また役務の必要に応じて、教会の益のために、いろいろのたまものを分け与えられます」（教会憲章七）。エウカリスチア（聖体）による交わりの考察は、私たちを「交わりへの教会」へと向かわせます。共同宣教司牧において、司祭・修道者・信徒が、それぞれの召命にしたがって、共に教会の使徒職を果たすのです。これが共同宣教司牧の精神です。

7. キリストのみ顔の前でマリアと共に祈りましょう

①聖体礼拝

エウカリスチア（聖体）との交わりに入ること、それは「祈る」ことです。なぜなら、エウカリスチア（聖体）はこの世における「祈りの現存」だからです。御父はキリストを復活させ、同時に神殿として建て、「神の子との交わりに招き入れられた」（Iコリント一・九）のです。ミサ以外の聖体礼拝、特に聖体訪問は、主の現存を出迎える大切な信仰行為です（参照『ミサ以外のときの聖体捧領と聖体礼拝』）。信者は訪問に行くと言うより、主が地上の共同体に現存してくださることを絶えず新たに「迎える」のです。キリスト者の祈りの中心であるエウカリスチア（聖体）は、「祈る」ことが「受ける」ことであり、交わりであることを教えてくれます。

教会がキリストのみ顔の前で祈るととき教会自身や世界の必要を知らせるのは、主がそれらをご存知ないからではなく、教会自身が心を開き主のみ声に耳を傾けるためです。主はつねに、必要を満たすためにそこにおられます。主の現存は、全能の神がこの世へ介入してこられる仕方なのです。

②「聖体に生かされた女性・マリア」
「聖体に生かされた女性」（『教会にいのちを与える聖体』N.53）

であり、御子を宿されたマリアが、エウカリスチア（聖体）における私たちと復活したイエスとの出会いを準備し、あこがれるよう導いてくださいます。キリストのみ顔の前で、マリアと共に祈りましょう。私たちの心の飢えと渴きを最も深く満ち溢れるまでに満足させてくださいますように。

③「世界の平和」のための祈り

最後に、今年もミサの中で「世界の平和」のための祈りを続けましょう。昨年、カデドナルに献堂した「都の聖母小聖堂」は平和を祈る礼拝堂として献げました。教皇は、「平和が可能なら、平和はまた義務なのです」と訴えておられます。ミサ中の「主の祈り」の後で、平和のための祈りをささげます。戦争に反対する私たちが、対立と不和の状況に何をなすべきかを、平和の主であるキリストに教えてくださいと祈らなければなりません。ミサこそ、平和のために捧げる最高の祈りです。人類と家族がキリストに結ばれ『みながひとつになって』、「キリストとの親しい交わりに呼ばれて」、例外なくすべての人と連帯して生きることができますようになります。

一〇〇五年一月一日 神の母聖マリアの祝日

(註1)

エウカリスチア（聖体）の呼称について
初代教会で、「主の日」に最後の晚餐の記念を行う集会が「エウカリスチア」（ギリシャ語の *eucaristia* 感謝）と呼ばれました。この「エウカリスチア」はしばしば日本語で「聖体」と訳されます。「聖体」は静止的印象を与えますが、「感謝」はダイナミックな概念です。「ミサ」は「感謝の祭儀」ともいわれますが、「感謝する」とは、「記念する」「聖餐にあずかる」「新しい契約」「奉獻」「礼拝」などの概念へと広がっていく内容を含んでいます。「エウカリスチア」ということばに込められている「聖体」と「感謝」という二つの意味を同時に想起させるために、本書簡では、「エウカリスチア（聖体）」と表記します。

共同宣教司牧ブロック の司教訪問について

今年のブロック司教訪問は、昨年と同様の形で行います。

1. 司教ミサ

ブロック訪問日に、主日のミサを司教が司式する。
ミサの典礼は、サブテーマを参考にして工夫する。

2. ミサ後の司教講話と懇談
ミサの後、『日常からミサを生きる』パート2について、司教は講話をを行う。

△司教の趣旨説明△
都合が許せば、「小グループ」に分かれてミサについての分かれ合いを小グループで行う。

全体会では、二〇〇五年年頭書簡・司教講話・現状を受けた視点で、意見交換・質疑応答を行う。
△新しい展望の確認△

（大塚司教の共同宣教司牧ブロック司教訪問の趣意書から）

訪問日程

2月20日(日)

滋賀・湖西
大津教会

2月27日(日)

京都南・南B
青谷教会

3月13日(日)

奈良・北部
登美ヶ丘教会

4月10日(日)

京都南・東
山科教会

4月24日(日)

三重・南勢
松阪教会

5月1日(日)

京都南・南A
伏見教会

5月8日(日)

三重・北勢
龟山教会

6月12日(日)

奈良・南部
御所教会

7月3日(日)

京都南・北
西陣教会

7月10日(日)

京都北・舞鶴
報恩寺教会

9月4日(日)

三重・中勢
久居教会

9月11日(日)

京都南・西
長岡教会

9月18日(日)

京都北・宮津
丹後大宮教会

10月16日(日)

滋賀・湖東
彦根教会

大塚司教のスケジュール

1月

1日(土)新年ミサ(河原町)	10時	司祭評・常任委員会	14時
2日(日)主の公現ミサ(河原町)	10時半	青少年連絡協議会(奈良)	14時
5日(水)司祭・修道者懇親会(地 下ホール)	11時	KCCの集い	15時
7日(金)京都ノートルダム女子大 学ミサ	15時	諸宗教対話部門会議	
9日(日)主の洗礼ミサ(河原町)	10時半	29日(土)聖愛幼稚園竣工式	9時半
10日(月)～11日(火)三重地区司祭 合宿	典礼部新年会	福音センター結婚講座	13時半
12日(水)中央協部長会	中央協長期建物修繕審議 会	20日(日)滋賀・湖西ブロック司教 訪問(大津教会)	(東京カテドラル)
13日(木)中央協常任司教委員会	中央協議会機構改革委員 会	22日(火)衣笠女子カルメル修道院 訪問	14時
14日(金)司教勉強会(中央協)	3日(木)中央協常任司教委員会	23日(水)WCRP世界大会企画委 員会	13時半
16日(日)大阪大司教区「震災10周 年新生の日祈念ミサ(神戸中央教 会)	東京カトリック神学院常 任司教委員会	24日(木)司教顧問会・責任役員会	10時
18日(火)青少年委・信仰教育委合 同	5日(土)洛星高等学校卒業式	26日(土)京都聖カタリナ女子高等 学校卒業式	10時
9日(水)聖家族幼稚園感謝の祈り	10時	学校の京都南部地区集会	(河原町)

同会議15時

19日(水)福音センター訪問

14時

20日(木)司教顧問会・責任役員会

10時

10日(木)コロナチャーチ創立

20時

11時15分

1日(火)メリノール女子学院高等
学校卒業式

10時

東京カトリック神学院常
任司教委員会

3月

21日(金)大阪管区司教會議(大阪 大司教館)	11時	大司教評・常任委員会	14時
23日(日)女子カルメル会修道院ミ サ(衣笠)	9時	野外礼拝ゼンター	14時
28日(金)中央協議会	【キリスト教一致週間】	原町)14時半	14時半
13日(日)教区合同洗礼志願式(河 原町)	原町)14時半	14日(月)～18日(金)臨時司教総会 (中央協)	14日(月)～18日(金)
19日(土)東京大司教区補佐被選司 教幸田和生司教叙階式	教會司式者・聖体奉仕者 (河原町)10時	19日(土)長岡幼稚園感謝の祈り (河原町)10時	19日(土)
20日(日)滋賀・湖西ブロック司教 訪問(大津教会)	講習会14時	5日(土)長岡幼稚園感謝の祈り (河原町)10時	5日(土)
22日(火)衣笠女子カルメル修道院 訪問	14時	6日(日)京都教区女子奉獻生活者 の会総会ミサ(河原町)	6日(日)
23日(水)WCRP世界大会企画委 員会	8日(火)青少年委員会	9日(水)京都学園・京都南学園学 法理理事会	9日(水)
24日(木)司教顧問会・責任役員会	10日(木)滋賀学法理理事会	10日(木)司教の京都北部地区集会 (舞鶴)14時	10日(木)
26日(土)京都聖カタリナ女子高等 学校卒業式	12日(土)司教の京都北部地区集会 (舞鶴)14時	12日(土)司教の京都北部地区集会 (舞鶴)14時	12日(土)
27日(日)京都南部・南ブロックB 司教訪問(青谷教会)	13日(日)奈良・北部ブロック司教 訪問(登美ヶ丘教会)	13日(日)奈良・北部ブロック司教 訪問(登美ヶ丘教会)	13日(日)
28日(月)ノートルダム女学院高等 学校卒業式	15日(火)ノートルダム学院小学校 卒業式	15日(火)ノートルダム学院小学校 卒業式	15日(火)
9日(水)聖家族幼稚園感謝の祈り	16日(水)聖母学院小学校卒業式	16日(水)聖母学院小学校卒業式	16日(水)
社会福祉法人カリタス会	10時	10時	10時

17日(木)司教顧問会・責任役員会	理理会14時	6日(水)中央協議会	12日(木)中央協常任司教委員会	5日(日)京都北部地区合同堅信式 (宮津) 14時
10時 司祭評・常任委員会14時 サ9時	10時 司教の三重地区集会(津)	7日(木)中央協常任司教委員会 10日(土)共同宣教司牧推進チーム 会議10時半 教訪問(山科教会)	東京カトリック神学院常任司教委員会 11日(月)~19日(火)マリスト会本部(オーストラリア)訪問 14時 ム集会14時	6日(月)~8日(水)東京カトリック神学院神学生養成担当者会議 7日(火)~9日(木)京都教区司祭研修会
19日(土)セントヨゼフ女子学園ミサ9時	20日(日)教区青年の日・カテキズム	19日(木)村上眞理雄師金祝 23日(水)聖香油ミサ11時	20日(水)教区評議会書記局会議18時 21日(木)司教顧問会・責任役員会 23日(土)第3回教区宣教司牧評議会14時 24日(木)聖木曜日・主の晚餐(河原町)19時	10日(火)奈良ファミリー・デーミサ・堅信(野外礼拝セントナー) 13日(月)~17日(金)定例司教総会(中央協)
24日(木)聖木曜日・主の晚餐(河原町)19時	25日(金)聖金曜日・主の受難(河原町)19時	25日(金)聖土曜日・復活徹夜祭(河原町)19時	22日(日)奈良ファミリー・デーミサ・堅信(野外礼拝セントナー) 13日(月)~17日(金)定例司教総会(中央協)	11日(土)奈良聖書講座10時 12日(日)奈良・南部ブロック司教訪問(御所教会)
26日(土)聖土曜日・復活徹夜祭(河原町)19時	27日(日)主の復活司教ミサ(河原町)10時半	26日(火)大阪京都合同司教顧問会 訪問(松阪教会) 議(京都)15時	24日(火)社会福祉法人カリタス会 理事会14時 26日(木)司祭全体集会10時半 司祭評議会15時半 27日(金)メリノール女子学院理事 会13時半	10日(火)滋賀地区合同堅信式(草津)14時 20日(月)(衣笠)女子カルメル修道院訪問14時 21日(火)教区カトリック学校連絡会(校長会)14時 23日(木)司教顧問会・責任役員会 25日(土)三重地区集会司式者・聖体奉仕者講習会14時
31日(木)侍者合宿司教ミサ(河原町)11時 中央協議会	4月	1日(日)京都南部・南ブロックA 司教訪問(伏見教会) 5日(木)右近こども祭りミサ(大和棒原)10時	29日(日)安土セミナリオ顕彰ミサ (安土ホール)11時半 30日(月)~31日(火)青少年委員会 研修会	19日(日)滋賀地区合同堅信式(草津)14時 20日(月)(衣笠)女子カルメル修道院訪問14時 21日(火)教区カトリック学校連絡会(校長会)14時 23日(木)司教顧問会・責任役員会 25日(土)三重地区集会司式者・聖体奉仕者講習会14時
1日(金)中央協議会年度始業ミサ 中央協部長会	5月	8日(日)三重・北勢ブロック司教訪問(龜山教会)	26日(日)河原町ミサ(司教靈名) 研修会	28日(火)教区幼稚園連盟園長会10時半
2日(土)京都ノートルダム女子大 学入学式10時	6月	9日(月)メリノール会総会(唐崎) 17時	2日(木)中央協部長会 東京カトリック神学院常任司教委員会	2日(土)聖母の小さな学校訪問 (舞鶴)14時
3日(日)村上眞理雄師司祭金祝感 謝ミサ(河原町)14時	7月			

3日(日)京都北部・舞鶴ブロック 司教訪問(報恩寺教会)	4日(木)～6日(土)教区中学生広島平和巡礼	23日(金)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時	27日(木)女子奉獻生活者の会代表者会議14時
5日(火)青少年委員会15時	6日(水)中央協出版審議会 中央協部長会	京都南部東ブロック平和 ミサ15時	25日(日)教区国際協力の日 京都教区カトリック国際ファミリー・デー in 京都北部ミサ14時
7日(木)中央協常任司教委員会 東京カトリック神学院常任司教委員会	8日(金)東京カトリック神学院常任委員会 福音センター結婚講座13時半	9日(火)～25日(木)ワールドユースデー・ケルン大会 平和行進17時	26日(土)教区中学生広島平和巡礼 ミサ14時
8日(金)東京カトリック神学院常任委員会 福音センター結婚講座13時半	9日(土)福音センター結婚講座13時半	9日(火)～25日(木)ワールドユースデー・ケルン大会 平和行進17時	27日(土)～28日(日)教区教会学校研修会 ミサ15時
10日(日)京都南部・北ブロック司教訪問(西陣教会)	11日(月)聖書講座19時半	10日(日)京都南部・北ブロック司教訪問(西陣教会)	27日(土)～28日(日)教区教会学校研修会 ミサ14時
12日(火)聖書講座10時	13日(水)聖書講座19時半	13日(水)聖書講座19時半	28日(日)教区中学生広島平和巡礼 ミサ14時
14日(木)聖書講座10時	15日(金)聖書講座10時	14日(木)共同宣教司牧推進チーム会議10時半	29日(月)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
16日(土)共同宣教司牧推進チーム会議10時半	17日(日)大和郡山教会創立50周年ミサ10時	15日(金)聖書講座19時半	30日(火)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
18日(月)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	19日(火)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	16日(土)京都南部・西ブロック司教訪問(長岡教会)	31日(月)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
20日(水)～21日(木)司教顧問会、司祭評・常任委員会	22日(金)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	17日(日)京都南部・西ブロック司教訪問(長岡教会)	32日(火)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
23日(土)三重地区聖書講座13時半	24日(日)京都コリアンセンターミサ10時	18日(月)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	33日(水)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
25日(月)大阪教会管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	26日(火)京都北部・宮津ブロック 司祭評・常任委員会14時	19日(火)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	34日(木)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
3日(水)比叡山平和の祈り15時	4日(木)～6日(土)教区中学生広島平和巡礼	20日(水)～21日(木)司教顧問会、司祭評・常任委員会	35日(金)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
8月	9月	10月	11月
18日(日)京都北部・宮津ブロック 司祭評・常任委員会14時	19日(火)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	20日(日)九条教会創立50周年ミサ10時	21日(月)司教顧問会・責任役員会 会14時
19日(火)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	20日(水)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	21日(月)那須トラピスチン訪問 講座(10周年感謝ミサ)	22日(火)司教顧問会・責任役員会 会14時
20日(水)～21日(木)司教顧問会、司祭評・常任委員会	21日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	22日(火)那須ガリラヤの家訪問 訪問(久居教会)	23日(水)司教顧問会・責任役員会 会14時
21日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	22日(水)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	23日(水)「東京カトリック神学院」訪問 那須ガリラヤの家訪問	24日(木)司教顧問会・責任役員会 会14時
22日(水)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	23日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	24日(火)衣笠墓地墓参14時	25日(火)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
23日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	24日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	25日(火)衣笠墓地墓参14時	26日(木)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
24日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	25日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	26日(火)衣笠墓地墓参14時	27日(木)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
25日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	26日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	27日(火)衣笠墓地墓参14時	28日(木)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
26日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	27日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	28日(木)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時	29日(木)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
27日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	28日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	29日(木)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時	30日(木)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時
28日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	29日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	30日(木)奈良教会宣教100周年記念会 ミサ14時	31日(月)教区評議会書記局会議18時
29日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	30日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	31日(月)教区評議会書記局会議18時	
30日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時	31日(木)京都管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時		
31日(月)教区評議会書記局会議18時			

27日(日)三重地区ラテンアメリカ人共同体堅信式(四日市)15時
30日(水)中央協議会

12月

1日(木)中央協常任司教委員会
司教社会問題研究会

2日(金)司教社会問題研究会
共同体堅信式ミサ(草津)

4日(日)滋賀地区ラテンアメリカ
14時

7日(水)~8日(木)東京カトリック神学院常任司教委員会

13日(火)~14日(水)大阪管区司教
会議

15日(木)司教顧問会・責任役員会
10時

20日(火)共同宣教司牧推進事務局
会議14時

24日(土)河原町市民クリスマス19
時半

25日(日)主の降誕河原町ミサ10
時半

教区内の活動予定

福音セントナーの行事

◆養成コース▼基礎講座4月9日、

4月16日、5月14日、5月28日、
6月11日河原町会館八階▼「カト

リック教会の教えに親しもうIII」
10月29日河原町会館六階▼「祈り

I」6月3日~5日ノートルダム唐崎▼「祈りII」11月18日~20日

ノートルダム唐崎▼病人訪問I9
月2日~4日宝塚默想の家▼沈

黙の祈りへ」秋から月1回、4、5
5回河原町会館八階▼「イスラエルの歴史」秋から月1回、4、5
回河原町会館八階

◆結婚講座▼第24回1月29日、2
月5日、2月19日福音セントナ

月25回7月9日、7月23日、8月
6日河原町会館八階

◆滞日外国人とともに9月17日~
18日野外礼拝センタ

◆出前コース(プロック、小教区、
グループの要望に応じて致します。)
▼「祈りを学ぶ会」月1回田辺教会

教区委員会の行事

◆聖書委員会▼一日聖書深読会

年間11回10時~16時河原町会館

六階ホールまたは七階会議室▼ミ
ニ聖書深読会(2時間)月1回、

木曜日昼14時半~16時半、夜19時
~21時、河原町会館七階会議室▼

聖書講座5月11日~10月27日河

原町教会地下ホールテーマ「マ
タイ福音書を読む—神の国のメッ

青年センターの行事

▼ネットワークミーティングin京 都2月11日(金)~12日(土)▼

◆奈良教会▼教会宣教百周年記念
ミサ9月23日(祝)

教育関係施設の行事

カトリック青年連絡協議会in京都

12日(土)~13日(日)▼中学生春合宿28日(月)~30日(水)▼
高校生春合宿3月31日(木)~4
月2日(土)▼中学生広島平和巡
礼8月5日(金)~7日(日)▼
中学生夏合宿8月22日(月)~24
日(水)▼高校生夏合宿8月25日
(木)~27日(土)▼カトリック青
年アジア体験学習8月15日(月)
~28日(日)▼ワールドユースデ
ーinケルン8月9日(火)~25日
(木)▼ネットワークミーティン
グin北海道9月17日(土)~18日
(日)▼カトリック青年連絡協議
会in北海道9月18日(日)~19日
(月)▼青年の集い「YES 20
05」10月8日(土)~9日(日)
▼中学生冬合宿12月26日(月)~
27日(火)▼高校生冬合宿12月27
日(火)~28日(水)

地 区 の 行 事

◆滋賀カトリック協議会▼例会2

月20日(日)13時半大津教会、

4月17日(日)草津教会、6月26
日(日)彦根教会、9月18日(日)

長浜教会、11月20日(日)唐崎教

会▼安土セミナリヨ記念行事5月

29日(日)▼合同堅信式6月19
(日)草津教会▼びわこウォーカ

ソン11月23日(水)

プロック・小教区の行事

◆京都ノートルダム女子大学▼卒

セージ・インマヌエルである神」
夜コース水曜日19時半~21時、昼
コース木曜日10時~12時▼聖書講
演会4月24日(日)13時半~16時
講師菊池功司教 河原町教会地
下ホール

- 業式3月10日
 ◆聖母女学院短期大学▼卒業式3月16日
 ◆海星中学校・高等学校▼高校卒業式3月1日▼中学修了式3月17日
 ◆京都暁星高等学校▼卒業式2月28日
 ◆京都聖カタリナ女子高等学校▼卒業式2月26日
 ◆聖母学院中学・高等学校▼高校卒業式2月16日▼中学卒業式3月18日
 ◆セントヨゼフ女子学園高等学校▼中学校▼高校卒業式3月3日
 ◆日星高等学校▼高校卒業式2月22日▼専攻科卒業式3月4日
 ◆ノートルダム女学院中学高等学校▼高校卒業式2月28日▼中学卒業式3月22日
 ◆メリノール女子学院中学校・高等学校▼高校卒業式3月1日▼中学修了式3月22日
 ◆洛星中学校・高等学校▼高校卒業式2月5日▼中学卒業式3月23日
 ◆聖母学院小学校▼卒業式3月16日
 ◆ノートルダム学院小学校▼卒業式3月15日
 ◆聖母教育文化センター▼日曜巡礼の旅5月15日大和郡山のキリストン、7月10日無原罪のメダリオン・草津教会、9月11日本二十
 六聖人・ミヤコの聖母、11月12、13日金沢に流された浦上キリシタン、指導者三侯俊二名譽教授▼
 『四旬節の默想をルルドで』Aコース2月10日～2月15日、Bコース2月24日～3月1日▼ルルド巡礼7月予定▼いざれも問合せ075(643)2320

諸施設・諸活動の行事

- ◆JOC▼働いている青年の集い。集合場所 京都働く人の家(九条教会前)、滋賀働く人の家(大津教会裏)。連絡先090-(8207)1831
- ◆おてんとうさんの会(精神障害者の方のたまり場、ボランティアの方もどうぞ)▼例会毎月第3金曜日 西院教会
- ◆カトリック聴覚障害者の会京都グルーブ▼手話教室原則として第二木曜日
- ◆京都カトリック混声合唱団▼練習日1月第三日曜日、第四土曜日、第五日曜日、2月以降、原則として毎月第二日曜日、第四土曜日、第三曜日、3月6日、3月23日、3月6日、5月1日、5月1日、6月1日、7月16日、9月17日、10月15日、11月19日、12月17日 フランス語の家
- ◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会▼河原町協議会毎月原則として第二日曜日▼京都中央理事会毎月原則として第四日曜日
- ◆二金会▼1月21日(金)、2月18日(金)、3月以降は毎月第二金曜日(7月、8月は休み)西陣
- ◆京都キリスト研究会▼総会1月23日(日)14時▼定例会2月27日(日)、3月27日、4月24日、6月26日、7月24日、9月25日、10月23日、11月27日▼都の聖母奉贊ミサ5月8日14時将軍塚▼都の聖ラザロ顯彰ミサ10月2日河原町教会▼懇親会12月11日▼以上いざれも日曜日
- ◆コーロチエレステ(聖歌を通して祈りに役立つことを目的としています)▼練習日原則として毎月第二、第四、第五木曜日▼2月10日(木)10時半 創立20周年感謝ミサ 河原町都の聖母聖堂会集会1月15日、2月19日、3月19日、4月16日、5月14日6月18日、7月16日、9月17日、10月15日、11月19日、12月17日 フラン
- ◆聖ドミニコ女子修道会▼「ロザリオと共に祈る会」1月21日(金)10時半▼みことばを聴こう!「神世界」1月22日(土)14時講師大月栄子氏 対象 青年男女会

お知らせ

- ◆糠みその会(人権・環境等について勉強会・現地見学等を行っています)▼例会1月27日、2月24日、3月31日、4月28日、5月26日、6月30日、7月28日、8月25日、9月29日、10月27日、11月24日、12月8日、いざれも月の最終木曜日(12月を除く)19時半場所九条教会ホール
- ◆レジオ・マリエ▼京都コミチウム集会1月16日、2月20日、3月20日いざれも日曜日、河原町会館六階ホール▼4月17日、5月15日、6月19日、7月17日、8月21日、9月18日、10月16日、11月13日、12月4日いざれも日曜日
- ◆教会司祭館

默想する」2月13日(日)10時

講師 米田彰男師 対象 青年男

女会費 五百円 申込み075
(231) 2017

教会信徒)です。お楽しみに。

▼ラジオ

KBS京都・月~土 朝5時15分

1月のテーマ「親切」

問合せ075(211)9341

◆「一万匹の蟻運動」基金報告

累計四二、五六〇、四四八円
(十一月十五日現在)

◆聖母教育文化センター▼「日曜巡礼の旅」—浦上キリストン流配の地 三重県上野市鉄砲町—1

月16日(日)近鉄伊賀線上野市駅改札口13時集合 指導者 三俣俊

二名誉教授▼聖書講座・月曜日1

月17日、31日いずれも19時 講師

安藤敬子▼聖書講座・金曜日1月

14日、21日、28日いずれも9時半

講師 安藤敬子▼「子育て講演

会」(最終回)1月26日(水)9時半 講師 楊尚真▼いずれも問

合せ075(643)2320

諸施設・諸活動から

◆心のもじび

KBS京都 日曜朝6時

小林神父様の年間シリーズは、

好評の内に3月に最終回を迎える、

4月からは新シリーズ。出演者は

長い歳月をかけてケセン語(岩手

県南部の言葉)の辞典を完成させ、

ケセン語訳の聖書も出版された、

山浦玄嗣(はるつぐ)氏(大船渡



◆お詫びと訂正 三三五号(十二月号)7ページ下段外国語ミサ、スペイン語ミサ上野教会は、第3土曜日19時からとありますが、19時半の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

◆編集部から

お知らせに載せたい情報は、前月の1日までに、教区時報担当宛にFAX075(211)4345か、henshu@kyoto.catholic.jpに、発信者のお名前を明記してお寄せください。

今年の教会の主な祝祭日

神の母聖マリア 1月1日(土)

主の公現 1月2日(日)

主の洗礼 1月9日(日)

日本二十六聖人 2月5日(土)

灰の水曜日 2月9日(水)

四旬節第一主日 2月13日(日)

復活の主日 3月27日(日)

主の昇天 5月8日(日)

聖靈降臨の主日 5月15日(日)

キリストの聖体 5月29日(日)

聖ペトロ・聖パウロ 6月29日(水)

聖母の被昇天 8月15日(月)

待降節第一主日 11月20日(日)

王であるキリスト 11月27日(日)

無原罪の聖マリア 12月8日(木)

主の降誕 12月25日(日)

お知らせ

司教総代理 ヨゼフ村上眞理雄師司祭叙階50周年
金祝感謝ミサ・祝賀会

日時: 2005年4月3日(日)午後2時より

場所: カトリック河原町教会司教座聖堂・地下ホール